

平成 22 年 4 月 12 日

## ～住宅業界から 日本を活性化する～

千葉木鶏クラブ（4 月度） 例会

春爛漫、百科繚乱の季節、政界も新政党が雨後のタケノコの様相、本物のタケノコも桜の開花も従前よりも早くなり自然界まで異変が重なっているようだ。

心機一転の 4 月は、多くの人達には、新規活躍の場で希望に胸を膨らませ“リスタート”させていることと推察できます。

千葉木鶏クラブは、常に人生“リスタート”であることに意義があります。

さて、今月の例会は「住宅業界に携わる会社」に対し、耐震診断・耐震補強等、住まいの安全性を高める技術・手法の指導・普及を行い、住宅の安全性（耐震性）向上に寄与されております「鈴木 芳郎」様から講演をお願いしました。

阪神淡路大地震から早や 15 年、災害そのものの恐ろしさも遠のいている昨今であります。災害は忘れた頃にやってくると言います。

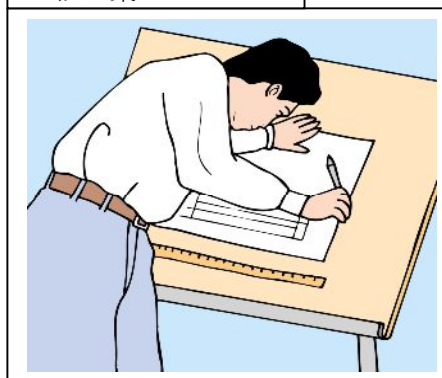
地震リスクの高い国に居住している我々は地震の怖さを知識として肝に銘じて置くことが肝要かと思えます。

皆様方のご参加を期待しております。

### 記

1. 日 時 : 平成 22 年 4 月 25 日 (日) AM 8 時 ~ 11 時
  2. 場 所 : 平山建設(株)会議室(6F) 電話 0476-23-1111  
成田市花崎町 795
- <交通案内> 京成成田駅東口徒歩 5 分、JR 成田駅徒歩 8 分 駐車場有り。
3. 会 費 : 1000 円
  4. 演 題 : ～住宅業界からの日本を活性化する～
  5. 講 師 : 木と住まいの構造計算株式会社  
代表取締役社長 鈴木 芳郎 氏

一級建築士として



『致知』より

成人（人と成る）の学びには二つある。

特性を養う学びを「人間学」といい。

知識技能を修得する学びを「時務学」という。

事務局 丸島 忠夫 Email : [marushima\\_t@snow.plala.or.jp](mailto:marushima_t@snow.plala.or.jp)

Tel/Fax: 0475-25-1211

## <レジュメ>

### 住まいの構造改革 ～住宅業界から日本を活性化する～

- 1) 地震大国日本に住むということ、千葉県の危険性は？
- 2) 大震災の悲劇『声なき声を聞け！』
- 3) 倒れた家と倒れなかった家には、法則がある。 中越、能登、中越沖、宮城北部地震の視察より（映像にて）
- 4) 住宅業界を活性化することが、内需拡大に繋がる
- 5) 住宅の耐震化が進まない理由
- 6) 家族の命を守るリフォームとは？男の使命感
- 7) 『一隅を照らす』活動が大きな光に！
- 8) 今日からできる『家族の命を守る対策』



## <プロフィール>

- ・ 1958年生まれ、千葉県出身。一級建築士。宅建取引主任者。インテリアプランナー
- ・ 武蔵工業大学 工学部 建築学科卒業後、ナイス株式会社にて、木造住宅の設計・監理、商品企画に携わる。
- ・ 分譲住宅販売する東金営業所長として営業に専念、現在は、木と住まい構造設計㈱に所属。
- ・ 木造住宅の耐震改修や既存不適格住宅の建替えを「住まいの構造改革」として推進、全国に賛同者を集い、2004年1月にNPO法人設立を実現。
- ・ 新潟県中越地震、福岡西方沖地震発生直後、被災地に赴き、建築物の倒壊・損傷など検証。
- ・ 現在は、「住宅業界に携わる会社」に対し、耐震診断・耐震補強等、住まいの安全性を高める技術・手法の指導・普及を行い住宅の安全性（耐震性）向上に寄与。
- ・ 著書に、「地震から命を守る家づくり」を発行。危険な家に住むことのリスクの高さをメッセージとして伝え続けている。
- ・ 趣味は、読書、陸上見学、ジョギング、人間学探究
- ・ 座右の銘：四耐四不訣



## <現職>

- ・ 木と住まいの構造計算株式会社 代表取締役社長
- ・ NPO 法人 住まいの構造改革推進協会 理事
- ・ 全国工務店への商品開発指導コンサルティング（200社超）住宅設計施工管理（500棟超）
- ・ 講演活動（年100回以上、宇都宮中央女子校他 etc...）